

高畠町公式マスコットキャラクター



たかつき

はたつき

令和4年度  
第2回高畠町景況調査結果  
(令和4年10月1日基準)

高畠町商工観光課



# 【令和4年7～9月期景況調査について】

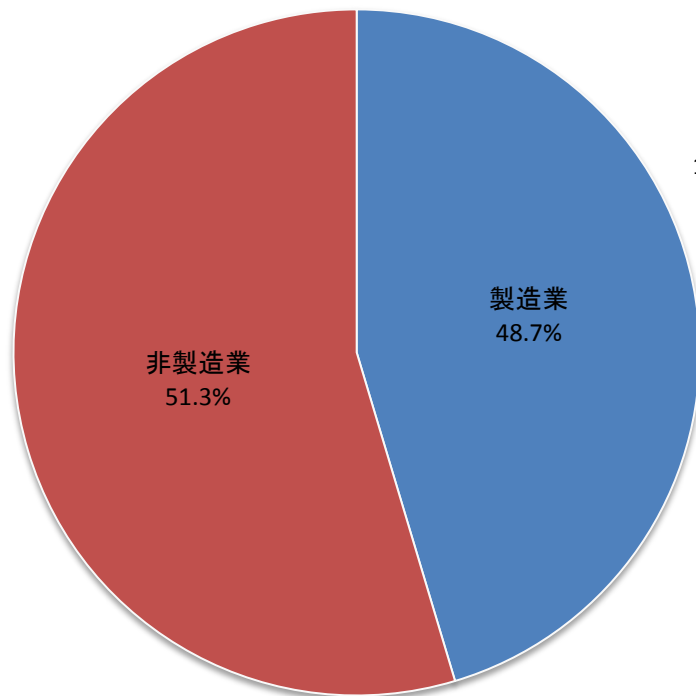
## 1.調査概要及び回収結果

1. 調査の目的 町内事業所における現在の景況感を把握することで、新型コロナウイルスの流行及び原油・物価・電気価格高騰による経営環境の悪化に対する支援策を検討するため。
2. 実施主体 高畠町、高畠町商工会
3. 調査設計
  - (1)標 本 数:町内事業所(個人事業主も含む)182事業所
  - (2)調査方法:調査票の配布(FAX、メール及び郵送)、回収(FAX及びメール)
  - (3)調査期間:令和4年10月7日～令和4年11月18日
  - (4)基 準 日:令和4年10月1日
4. 回収結果 119事業所(回収率65.4%) ※ 前回:68.1%
5. 採用指標 「景気動向指数D.I.(ディフュージョン・インデックス)」を採用  
実数値の上昇率を表すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを表す。  
本調査では、「増加(良い・上昇・過剰等)」と回答した事業所数の構成比から、「減少(悪い・低下・不足等)」と回答した事業所数の構成比を差し引いた値で算出している。

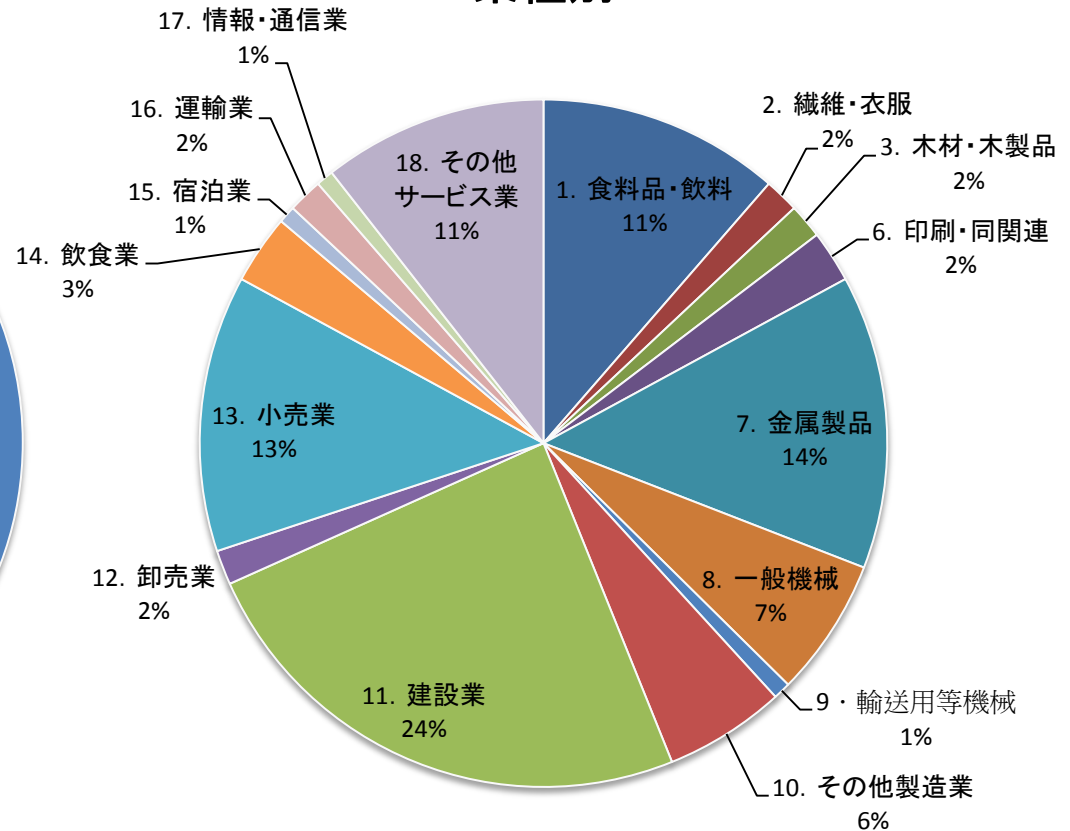
## 2.アンケート調査の結果①

### 回答事業所内訳

#### 製造業・非製造業別



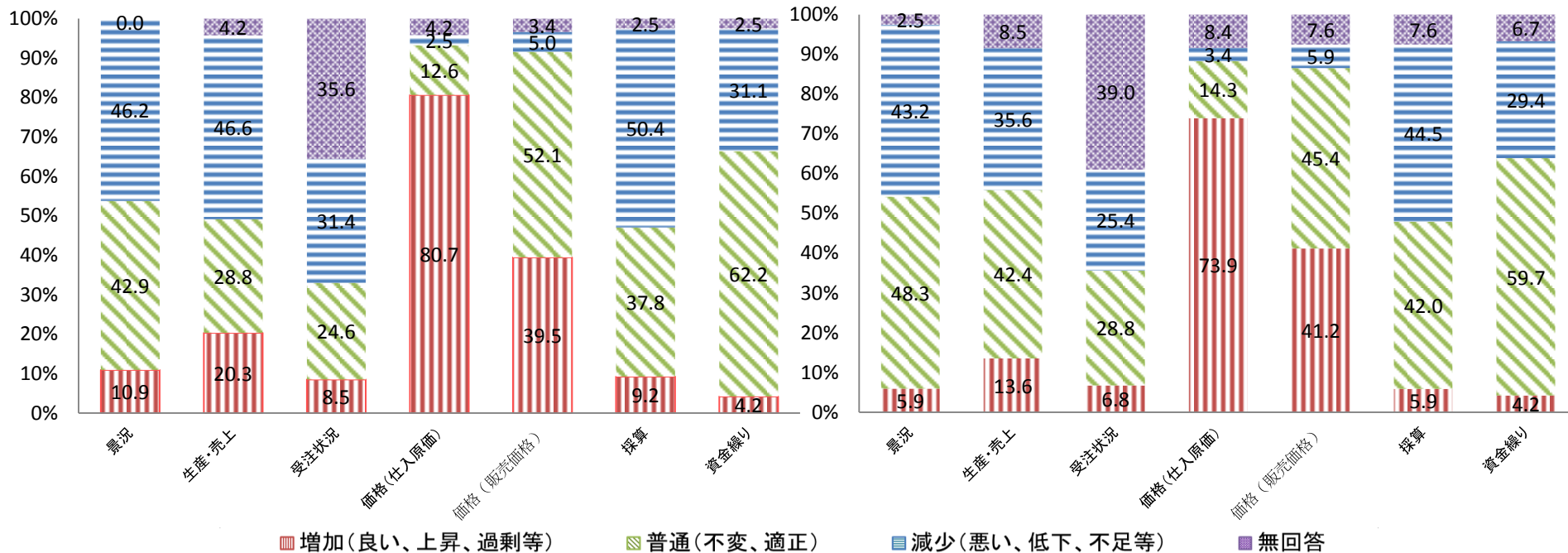
#### 業種別



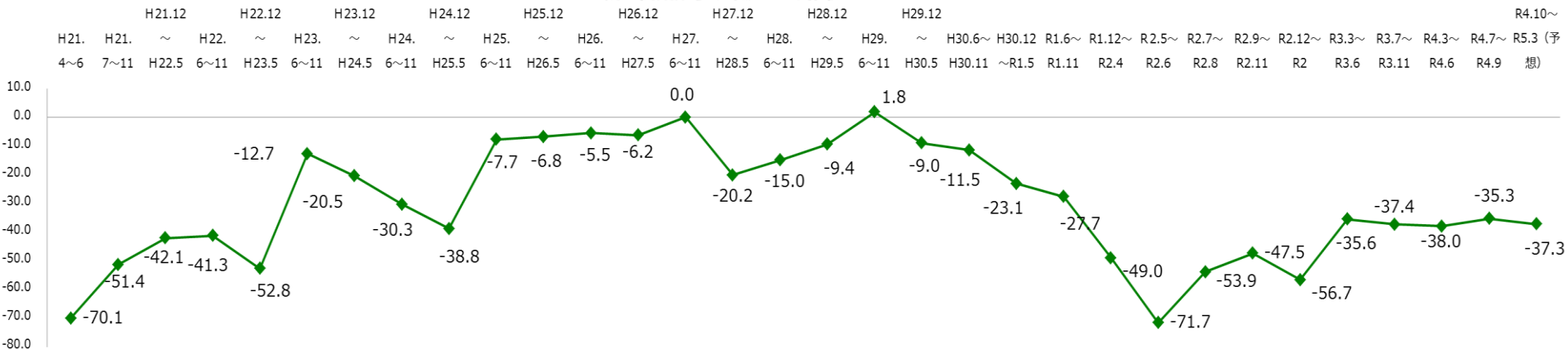
# 2.アンケート調査の結果②

今期(令和4年7月～令和4年9月)

来期予想(令和4年10月～令和5年3月)



調査開始からの業況D.Iの推移



## 2.アンケート調査の結果③

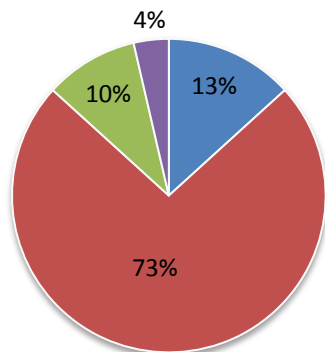
No.	調査項目	今回調査分													
		H29.12~ H30.5月期	H30.6~ 30.11月期	H30.12~ R1.5月期	R1.6~ 11月期	R1.12~ R2.4月期	R2.5~ R2.6月期	R2.7~ R2.8月期	R2.9~ R2.11月期	R2.12~ R3.2月期	R3.3~ R3.6月期	R3.7~ R3.11月期	R4.3~ R4.6月期	R4.7~ R4.9月期	R4.10~ R5.3月期 予想
1	業況 「良い」 - 「悪い」の指数	▲ 9.0	▲ 11.5	▲ 23.1	▲ 27.7	▲ 49.0	▲ 71.7	▲ 53.9	▲ 47.5	▲ 56.7	▲ 35.6	▲ 37.4	▲ 38.0	▲ 35.3	▲ 37.3
2	受注状況 ※製造業・建設業 「増加」 - 「減少」の指数	▲ 1.3	▲ 6.4	▲ 25.3	▲ 29.6	▲ 56.9			▲ 49.4		▲ 17.1	▲ 13.0	▲ 12.3	▲ 22.9	▲ 18.6
3	生産・売上 「増加」 - 「減少」の指数	▲ 7.3	▲ 6.7	▲ 23.9	▲ 33.0	▲ 52.0	▲ 75.0	▲ 59.4	▲ 47.5	▲ 56.0	▲ 29.6	▲ 22.8	▲ 18.0	▲ 26.3	▲ 22.0
4	出荷状況【出荷量】 ※製造業 「増加」 - 「減少」の指数	▲ 3.6	▲ 7.8	▲ 35.1	▲ 42.9	▲ 55.1			▲ 51.6		▲ 8.9	▲ 8.1	▲ 0.8		
	出荷状況【出荷額】 ※製造業 「増加」 - 「減少」の指数	▲ 5.4	▲ 13.7	▲ 33.3	▲ 42.9	▲ 59.2			▲ 55.7		▲ 9.6	▲ 8.9	▲ 3.3		
5	在庫水準【製・商品在庫】 「過剰」 - 「不足」の指数	▲ 1.8	▲ 1.0	▲ 3.4	▲ 2.7	▲ 6.0			▲ 0.8		▲ 1.5	▲ 7.3	▲ 0.0		
	在庫水準【原材料在庫】 ※製造業 「過剰」 - 「不足」の指数	▲ 1.8	▲ 11.8	▲ 5.3	▲ 4.1	▲ 14.3			▲ 1.7		▲ 0.7	▲ 7.3	▲ 1.6		
6	価格【仕入価格】 「上昇」 - 「低下」の指数	▲ 56.9	▲ 48.1	▲ 37.6	▲ 37.5	▲ 10.0			▲ 17.2		▲ 50.4	▲ 65.9	▲ 77.0	▲ 78.2	▲ 70.6
	価格【販売価格】 「上昇」 - 「低下」の指数	▲ 3.7	▲ 12.5	▲ 5.1	▲ 0.0	▲ 16.0			▲ 11.5		▲ 0.0	▲ 8.1	▲ 29.5	▲ 34.5	▲ 35.3
7	採算 「好転」 - 「悪化」の指数	▲ 12.8	▲ 17.3	▲ 19.7	▲ 25.9	▲ 45.0			▲ 50.0		▲ 37.0	▲ 34.1	▲ 34.4	▲ 41.2	▲ 38.7
8	資金繰り 「好転」 - 「悪化」の指数	▲ 4.6	▲ 9.6	▲ 8.5	▲ 16.1	▲ 36.0	▲ 35.9	▲ 42.2	▲ 27.9	▲ 39.3	▲ 18.5	▲ 23.6	▲ 19.7	▲ 26.9	▲ 25.2
9	雇用【正社員】 「増加」 - 「減少」の指数	▲ 5.5	▲ 1.0	▲ 2.6	▲ 1.8	▲ 1.0			▲ 4.9		▲ 0.0	▲ 9.8	▲ 4.9		
	雇用【臨時・パート社員等】 「増加」 - 「減少」の指数	▲ 3.7	▲ 1.0	▲ 1.7	▲ 3.6	▲ 5.0			▲ 1.6		▲ 1.5	▲ 3.3	▲ 3.3		

## 2.アンケート調査の結果④

原油価格、物価高騰による仕入価格、販売価格への影響について

### 仕入れ価格上昇率

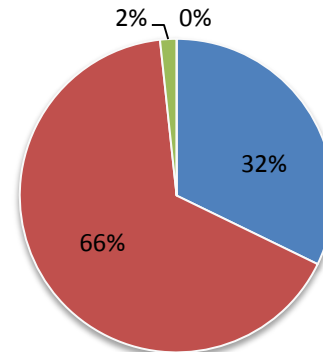
■ 10%未満 ■ 10%～20% ■ 21%～30% ■ 31%以上



回答数: 83

### 販売価格上昇率

■ 10%未満 ■ 10%～20% ■ 21%～30% ■ 31%以上

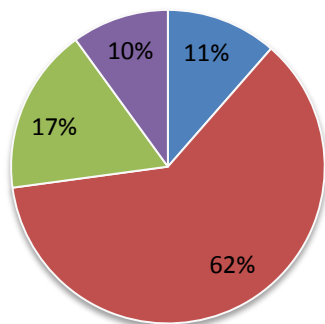


回答数: 59

電気・ガス代高騰による仕入価格、販売価格への影響について

### 仕入れ価格上昇率

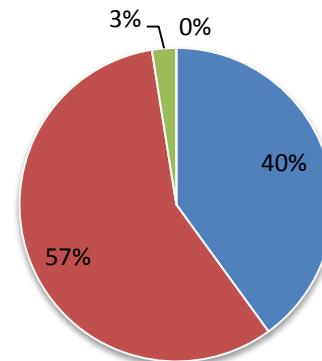
■ 10%未満 ■ 10%～20% ■ 21%～30% ■ 31%以上



回答数: 70

### 販売価格上昇率

■ 10%未満 ■ 10%～20% ■ 21%～30% ■ 31%以上



回答数: 40

### 3. 景気動向(概要)

業況は回復傾向だが、今後は悪化を見込む事業者が多く、依然として厳しい状況が続いている。さらに、原油価格及び物価等の高騰による仕入価格の上昇分を、安易に販売価格に転嫁できない状況が続いている。

(1) 今期の業況は、前回(▲38.0)から2.7ポイント増の▲35.3となった。「生産・売上」が前回(▲18.0)から8.3ポイント減の▲8.3、「受注状況」が前回(▲12.3)から10.6ポイント減の▲22.9となるなどした。「仕入れ価格」が前回(77.0)から1.2ポイント増の78.2、②販売価格が前回(29.5)から5.0ポイント増の34.5となり、2つとも過去最高の数値となった。

(2) 来期の業況は、今期(▲35.3)から2.0ポイント減の▲37.3となった。「採算」が今期(▲41.2)から2.5ポイント増の▲38.7、「仕入れ価格」が今期(▲78.2)から7.6ポイント減の▲70.6となるなど、仕入れ価格の上昇が緩やかになると予想される一方、来期も販売価格の上昇が続くと見られている。

## 4.物価等上昇への対応・工夫

1	価格改定による転嫁
2	取引先への単価改定などの交渉
3	SDGSを基本とした省エネ対策の実施、補助金、助成金の利用促進
4	抜本的な対応策がなく困っている
5	省エネ設備へ更新
6	電気供給事業者の変更を検討中

回答から抜粋



## 5.物価等上昇への対応・工夫

1	人手不足はなかなか解消できない状況。現在の人員にあった工事の受注と協力会社への応援を依頼。
2	人手が必要となる時間に合わせて他の課へ応援を要請する
3	人材派遣
4	人員募集をしているが、採用に至っていない。定年後の再雇用などで当面は対応している。
5	定年の延長や再雇用制度の活用
6	中途採用
7	賃金アップ等
8	設備更新にて工程の削減、手作業の見直し、多機能従業員の育成
9	外国人の雇用
10	給与のアップや成果手当を導入。努力した結果を感じられる張り合いのある現場を常に意識している。

回答から抜粋

## 6.事業所・業界の要望事項

1	人材を紹介してほしい(30歳～60歳)
2	財政的に厳しいと思いますが、もっと補助金・融資制度を厚くしてほしい
3	企業の存続に対する相談(縮小、廃業を含む)。M&Aを積極的に進めていく必要がある。
4	会員企業への個別訪問を増やしてもらえれば
5	重機購入の助成
6	町で出来得る品は、町内の業者を用命してほしいと思います
7	プレミアム付クーポン券事業を今後も継続してもらいたいです
8	固定資産税の減税

回答から抜粋